

事務事業名 観光客誘客促進事業

区分	No	名称
章	3	大地に根ざしたたくましい産業が躍動するまち
節	1	活力に満ちた魅力あふれる産業をつくる
施策	1	魅力ある観光地づくり
小分類	2	心と体を癒す観光のまちづくり
主要な施策	1	広域連携による濃密な情報発信
事務事業番号	003	事業開始年度 昭和 45 年度 事業終了年度 平成 - 年度 会計種別 一般会計

部 名	観光経済部	グループ名	観光振興グループ
-----	-------	-------	----------

事務事業の概要

《Plan・Do》

目的	(事務事業の実施目的を具体的に記入してください)
	観光PRに必要なツールの整備や誘客事業の参加を通して観光客入込の増加を図る。
事業内容及び実績	(事業内容及び平成23年度の実績を具体的に記入してください)
	イベントやキャンペーンへの参加、観光パンフレット・ポスターの作成、国内外からの観光客の誘客活動の実施。 平成23年度実績 ・各種行事等に対する特産品（記念品）の提供 ・道外修学旅行誘客プロモーション参加 ・観光パンフレット、散策マップ作成 ・新聞広告掲載 ・北海道観光振興機構への負担金 等
今後の方向性	(次年度以降の事業展開における改善など今後の方向性を具体的に記入してください)
	温泉や自然景観、体験メニュー等の積極的なPRにより、国内外の観光客の入込み増加につなげる。
根拠法令等	(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称を全て記入してください)

事業費（財源内訳）の推移

《Plan・Do》

区分		単位	H22年度 決算	H23年度 決算	H24年度 当初予算	H25年度 見込	H26年度 見込
国庫支出金	名称	千円					
道支出金	名称	千円					
地方債	名称	千円					
その他	名称	千円					
一般財源	名称	千円	4,278	6,857	6,437	6,437	6,437
事業費 合計			4,278	6,857	6,437	6,437	6,437

指標の推移

《Check》

区分		単位	区分	22年度 実績	23年度 実績	24年度 目標	25年度 目標	26年度 目標
成果 指標	観光入込客数	千人	目標値	3,100	3,100	3,100	3,100	3,100
			実績値	3,042	2,661			
	宿泊客延べ数	千人	目標値	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200
			実績値	1,164	1,058			

現況		《Check》
現状の状態、問題点、課題等《事業前》	具体的な対策、解決の方向性《事業後》	
国内外に向けた誘客のための情報発信や、観光協会とともにプロモーションを実施している。	東日本大震災の影響により観光客が大幅に減少したが、秋以降回復傾向にある。今後は道内外、国外（特に回復が遅い国）からの観光客の誘客を促進し、回復させる取り組みが必要である。	

担当グループによる事務事業評価の内容（複数回答可） 《Check》

1. 事務事業の妥当性について		
市が事業主体として実施していくべき妥当性の高い事業ですか？	市が主体に行うべき事業である	判断理由及びその他所見 登別市の基幹産業である観光産業の振興を図るため、情報発信するための資料作りを実施することや、（社）登別観光協会をはじめとする観光関連団体が実施する活動に市が参加するための経費であり、実施することは妥当である。
	民間(事業者、市民団体等)でも実施可能である	
	国、道、他団体等との連携や広域化が可能である	
	国、道、民間等の事業と重複・類似している	
2. 事務事業の必要性について		
市民ニーズの状況等から勘案して、必要性の高い事業ですか？	市民、団体等から具体的な要望がある	判断理由及びその他所見 東日本大震災により減少した国内外からの観光客誘致のために必要な事業である。
	市民アンケートの結果から必要性が高い	
	社会情勢、地域事情等から必要性が高い	
	市民の大部分が関連することから必要性が高い	
3. 事務事業の効率性について		
事業内容とコスト(事業費)のバランスがよい効率性の高い事業ですか？	低予算、少労力で高い効果をあげている	判断理由及びその他所見 国内外の観光客のニーズを的確に把握し、それに見合った事業展開を行っていることから効率性が高いと考える。
	市で実施するほうが民間委託より効率性が高い	
	多額の経費や労力を要するがやむを得ない	
	将来的に効率性を向上できる	
4. 事務事業の成果について		
目的を達成するための成果はあがっていますか？	成果指標の向上が見られる	判断理由及びその他所見 本年度は、東日本大震災の影響により観光客が大幅に減少したため過去と比較した成果の把握は困難であるが、秋以降回復傾向にあるなど一定の成果が出ていると考える。
	市民、団体等の声から成果を感じられる	
	目に見える形で成果があがっている	
	成果の把握は困難である	

担当グループによる評価 《Check》

維持	左記の評価を選択した具体的な理由（根拠）	国内外からの観光客の誘致促進を図るため、今後も継続して当該事業の実施が必要である。
-----------	----------------------	---

行政評価会議による評価 《Check》

維持	備考	
-----------	----	--